

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高3 特進	地歴	世界史研究	新詳 世界史B (帝国書院)	最新世界史図表タペストリー(帝国書院) 総合マスター 世界史B (浜島書店)

1. 授業のねらい

- 1 大学入試共通テストや各種大学入試の過去問題を使い、古代から近現代までの演習をおこない、大学入試共通テスト・国公立2次試験・各私立大学の個別入試に対応できる実力を養う。
- 2 文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察する。
- 3 大学入試に向けて得点力の強化をはかる。

2. 授業のすすめ方

演習問題を配布して教科書・資料集を併用しながら授業をすすめます。各自必要に応じてファイル・バインダーを用意し、配布物を保管してください。配布物はなくさないようにしてください。

3. 学習上の留意点

- 1 歴史は科学です。原因・過程・結果の積み重ねが、教科書にまとめられています。人物名・事件名・年号などを暗記することも大切ですが、「なぜそうなったのか」、「その結果は歴史的にみてどのような意味をもつのか」といった観点を念頭に入れ、歴史的思考力を養うことを意識して授業に臨んでください。
- 2 授業で取り扱った問題演習で、間違えてしまった問題は必ず早急に解けるようにしましょう。またその内容に関連した知識（プラスαの部分）を貪欲に求めるようにしましょう。

4. 副教材・参考文献

- 1 『最新世界史図表タペストリー』（帝国書院）、『総合マスター 世界史B』（浜島書店）
- 2 問題集を各自購入して授業の復習用に用いることも良いと思います。また、志望校の赤本を購入し、自学自習を並行して進めることもお勧めします。

5. 評価方法

- 1 定期試験…定期考査3回（1学期中間考査・期末考査、2学期期末考査）、各100点
- 2 平常点…1学期20点、2学期10点
- 3 平常点は、主に授業態度・定期考査の結果で評価します。

6. 定期考査

- 1 定期考査の正確な範囲は、その都度発表します。
- 2 定期考査は授業内容、また、授業で扱った内容と同時代史から出題します。毎回の授業に集中してください。

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	2年時に学習した範囲の中から、入試問題等を用いて問題演習を行います。 古代～近世史入試問題演習	中間 考 査	様々な入試問題を研究し、知識の出力を訓練する。
	5			
	6			
	7		期 末 考 査	
二 学 期	9	1学期の内容に近現代史を加え、全体の総復習を、入試問題等を用いて行います。	基礎 学 力 到 達 度 テ ス ト	様々な入試問題を研究し、知識の出力を訓練する。
	10			
	11			
	12		期 末 考 査	

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。